

自治体DX推進のための外部人材スキル標準

カテゴリー	自治体DX推進に必要とされる人材像（役割）		備えておくことが望ましいスキル要件			望ましいスキルレベル・資格	望ましい経験
			分類	名称	内容		
1	プロデューサー (全庁的な自治体DXの企画・推進)	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体DXの推進に向け、組織全体の機運醸成、職員意識改革を図る。 ○全体方針（DX推進のビジョン・工程表）を立案する。 ○全庁的なDX推進体制を構築する。 ○他自治体や民間企業等との連携の枠組みを構築する。 ○情報セキュリティポリシーを見直す。 	テクニカルスキル	全体方針立案	ガバメントクラウド、マイナポータル等、国の自治体DXに関する政策の動向を把握するとともに、まちづくりの視点を踏まえつつ、相互に関連するDXの取組みを総合的かつ効果的に実施し、全庁的にDXを強力に推進していくための全体方針を立案。 (必要に応じ個別の取組に関する計画を策定)	以下のいずれかのスキルレベル又は資格を有していることが望ましい。 【スキルレベル】 ・ITスキル標準(独立行政法人情報処理推進機構(以下、IPA))のコンサルタント、又はITアーキテクトの分野におけるレベル4相当以上の実務能力。又は ・情報システムユーザースキル標準(IPA)のビジネスストラテジスト、ISストラテジスト、ISアーキテクトのいずれかの分野におけるレベル4相当以上の実務能力。 【資格】 ・ITストラテジスト(IPA)又は ・システムアーキテクト(IPA)又は ・システム監査技術者(IPA)又は ・情報処理安全確保支援士(IPA)	以下のいずれかの経験を有していることが望ましい。 ・デジタル分野における戦略の立案・推進の責任者として、チームのメンバーをリードした経験。 ・民間企業等のデジタル技術を活用する部門もしくは情報システムを所管する部門で5年程度の管理職又は同等の経験。 ・自治体で勤務した経験、又は自治体から受託した業務に従事した経験。
			サービスデザイン思考	利用者の本質的なニーズに基づき、利用者に「使っていただく」という意識でサービス・業務を企画・デザイン。			
				技術・データの活用	自治体DXを進める上で生じた課題の解決に資する、適切なデジタル技術の導入やデータの活用を助言。		
				情報セキュリティ	三層の対策など、自治体の情報セキュリティポリシーに関する国の政策動向や情報セキュリティ技術に関する知識に基づき、自団体の実態に応じて情報セキュリティポリシーを見直し。		
			ヒューマンスキル	リーダーシップ	ビジョンの実現に向け、自らが変革の原動力となり、組織横断的に職員に働きかけ、全庁的に自治体DXの機運を醸成。		
				コミュニケーション	首長やCIOをはじめとした自治体の内部のみならず、民間事業者・大学等の外部の関係者とも密接に意思疎通を行う。		
					コーディネート	連携の枠組みの構築に向け、自らの所属する自治体の職員と他自治体の職員・民間事業者及び大学等の外部の関係者を結びつける。	
2	プロジェクトマネージャー (自治体DXを実現するための各プロジェクトの企画・推進)	<ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクトを企画し、そのスケジュール、コスト、品質等を管理する。 ○(外部に業務を委託する場合)事業者の選定を行う。 ○他自治体や民間企業等との連携の枠組みを構築する。 	テクニカルスキル	プロジェクト企画	全体方針をもとに、自治体内部や地域の課題、利用者のニーズをくみとり、プロジェクトを企画。	以下のいずれかのスキルレベルもしくは資格を有していることが望ましい。 【スキルレベル】 ・ITスキル標準(IPA)のプロジェクトマネジメントの分野におけるレベル3~4相当以上の実務能力。又は ・情報システムユーザースキル標準(IPA)のプログラムマネージャの分野におけるレベル3~4相当以上の実務能力。 【資格】 ・プロジェクトマネージャ(IPA)又は ・Project Management Professional(PMP®)(Project Management Institute(PMI))	以下のいずれかの経験を有していることが望ましい。 ・デジタル分野におけるプロジェクトの提案、立ち上げ、計画策定、実行、終結といったプロセスにおけるプロジェクトの責任者として、プロジェクトのメンバーをリードした経験。 ・民間企業等のデジタル技術を活用する部門もしくは情報システムを所管する部門で3年程度の管理職又は同等の経験。 ・自治体で勤務した経験、もしくは自治体から受託した業務に従事した経験。
				スケジュール管理	プロジェクトで発生する作業を誰がいつまでに実行するかなどを定め、作業の進捗を管理。		
				コスト管理	プロジェクトに必要なコストを算出し、プロジェクト費用を想定範囲内に収めるためコスト実績を管理。		
				品質管理	プロジェクトにおける成果物の品質を管理し、成果物を検証。		
				委託管理	プロジェクトに必要な作業を外部に委託し、事業者の選定から検収までの工程を管理。		
			ヒューマンスキル	リーダーシップ	プロジェクトの達成に向けて、プロジェクトの所属メンバーなどに積極的に働きかけを行う。		
				コミュニケーション	プロジェクトのメンバーのみならず、民間事業者・大学等の外部の関係者とも密接に意思疎通を行う。		
				コーディネート	連携の枠組みの構築に向け、プロジェクトメンバーと民間事業者・大学等の外部の関係者を結び付ける。		

自治体DX推進のための外部人材スキル標準

カテゴリー	自治体DX推進に必要とされる人材像（役割）		備えておくことが望ましいスキル要件			望ましいスキルレベル・資格	望ましい経験
			分類	名称	内容		
3	サービスデザイナー （各プロジェクトにおけるサービス・業務の設計）	○利用者にとって使いやすい行政サービスを実現する。 ○業務プロセスの見直し（BPR）を実施・支援する。 ○業務の効率化、サービスの改善や地域社会のデジタル化のためにデータを活用する。	テクニカルスキル	要求分析	サービスデザイン思考に基づき、サービス利用者（住民・職員）が求めている要望を可視化し、サービスで実現する要件を具体化。	-	以下のいずれかの経験を有していることが望ましい。 ・民間企業等において一般消費者向けのデジタルサービスを企画・設計・開発・実装した経験。 ・自治体で勤務した経験、又は自治体から受託した業務に従事した経験。
			UI技術	利用者にとって使いやすいサービスを実現するため、ソフトウェアの操作画面など利用者や情報システムとの接点（UI：ユーザーインターフェイス）を設計。			
			UX技術	人間中心設計やデザインリサーチなどの方法論（フィールドワーク、参与観察などの各種定性調査手法）を利用することにより、利用者にとって望ましいサービスの利用体験（UX：ユーザーエクスペリエンス）を設計。			
			業務分析	定量及び定性的データを分析し、自治体の業務内容及びプロセスを可視化することにより、課題を捉える。			
			データ活用	業務の効率化、行政サービスの改善や地域社会のデジタル化のために、自治体が保有するデータを活用する。			
			ヒューマンスキル	リーダーシップ	サービスや業務の見直し・改善のため、所管課の職員などに積極的に働きかけを行う。		
			ヒューマンスキル	コミュニケーション	サービスや業務の見直し・改善のため、所管課の職員やサービス利用者やと密接に意思疎通する。		
4	エンジニア （各プロジェクトにおけるサービス・業務の実装）	○適切なデジタルツール（RPA・ノーコードツール等）を実装することにより、業務の効率化や住民の利便性向上を実現する。	テクニカルスキル	要求分析	サービス利用者（住民・職員）が求めている要望を可視化し、デジタルツールで実現する要件を具体化。	以下のいずれかのスキルレベルもしくは資格を有していることが望ましい。 【スキルレベル】 ・ITスキル標準(IPA)のITスペシャリスト、アプリケーションスペシャリスト、ITサービスマネジメント、カスタマーサービスのいずれかの分野におけるレベル3相当以上の実務能力。又は ・情報システムユーザースキル標準(IPA)のアプリケーションデザイナー、システムデザイナーのいずれかの分野におけるレベル3相当以上の実務能力。 【資格】 ・ITサービスマネージャー（IPA）	以下のいずれかの経験を有していることが望ましい。 ・民間企業等においてデジタルツールの実装を行った経験。 ・自治体で勤務した経験、又は自治体から受託した業務に従事した経験。
			デジタルツール実装	具体化した要件を実現するため、適切なデジタルツール（RPA・ノーコードツール等）を実装。			
			ヒューマンスキル	リーダーシップ	デジタルツールの実装に向けて、所管課の職員などに積極的に働きかけを行う。		
			ヒューマンスキル	コミュニケーション	デジタルツールの実装に向けて、所管課の職員やサービス利用者やと密接に意思疎通する。		